

$$S = \frac{W + E + (N + 1)T}{N + 1} \quad \text{となるべく之を } T = \frac{2880}{S} \quad \text{に入る時は}$$

$$T = \frac{2880(N + 1)}{W + E + (N + 1)T}$$

を得へし、之に依つて一種の列車に對して側線の位置の適當なる配置を見出し而して單線線路の最大能力を定め得べき方法の存在するを知るべく猶一步進みて規定時刻を以て運行する他種の數列車により影響を受くる一種の列車の能力を知るべき公式或は方法を誘導し得べきことを知らん。

Eng. Record, March 25, 1916.

(S)

### ○鐵筋混凝土堤道

英領印度とセイロン島とを鐵道線路に依りて連絡なさせしめんとは兼てよりの希望なりしか、此の間の海峽は近來鐵道の終端驛に於て海面に向つて埋立工事を成せる結果數年前の如く廣からずして約二十哩に過ぎず、且つ South Indian Railway は Dhanushkoti まで延長し、又 Ceylon State Railway も Talaimannar まで延長なさんと爲し、つあるか爲め其の間の連絡船に代ゆるに鐵道線路を以てせんとするに至りしなり、印度行政省の報告によれば Adam's Bridge と呼はるる砂洲に堤道を築造し以て線路を布設せんとするに在りて總延長は約二十哩にして其中七哩は海峽中所々に散在せる島嶼の上に設けられ残り十三哩は海中に設けらるるなり、此海中に築造さるる部分は心々距離十呎なる二列の鐵筋混凝土杭上に設けられ杭は縦には小なる混凝土拱及ひ鎖に依りて緊結され横には混凝土繫材支柱及鎖に依りて緊結さるるものとす、而して此等の杭によりて圍まれたる内部に鐵筋混凝土板を設け其の底板となるものは深く海底に至らしむ、斯くて圍まれたる中は砂を以て満たし此の混凝土工の頂上は高水位より上六呎にあり而して總工費の豫算は七四〇、〇〇〇磅なりと云ふ。

Concrete & Constructional Engineering, March, 1916

(S)

### ○ダイナマイトを用ひて山火事を防止する事

何人と雖も盛んに燃焼しつつある山